



大雨注意報・警報(浸水害)が発表されたときは、
浸水害の危険度が高まっている地域を「危険度分布」で把握することができます。

【とるべき行動】

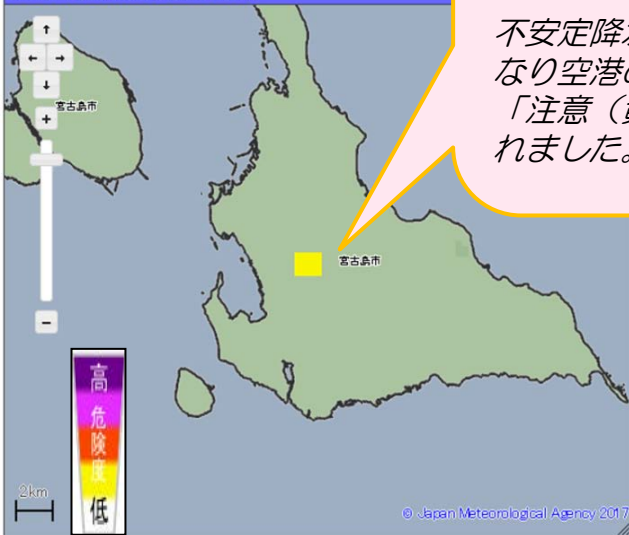
危険度が高まっている地域にお住まいの方は、屋内の高いところ、場合によっては屋上へ移動するなど、早めの安全確保行動を心がけてください。

また、たとえ危険度がそれほど高まっていない段階であっても、浸水や道路冠水の起こりやすい場所は要注意です。住宅の地下室や道路のアンダーパス(立体交差道路の掘り下げて低い方の道路)には大量の水が流れ込んで命に危険が及ぶおそれがありますので、こうした場所からは退避し近づかないことを心がけてください。

大雨警報(浸水害)の危険度分布

表示時間 < 07/23 16:00 > 最新
 動画方法 6時間前から最新まで 動画表示 動画開始 動画
 動画速度 遅く ■■■■■□□□□□□□□ 速く

2017年07月23日16時00分



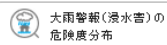
2017年7月23日16時00分
 気象庁ホームページでの
 危険度分布表示例

不安定降水で短時間降雨となり空港の南側に危険度、「注意(黄色)」が表示されました。



2005年2月22日
 大雨により宮古島市内で道路冠水

危険度分布は、浸水害発生の危険度を5段階で判定し1km四方の領域(メッシュ)で結果を表示します。危険度の判定には、実況値及び1時間先までの雨量予測に基づく表面雨量指数の予想を用いています。以下のアドレスからご利用下さい。



<http://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/inund.html>

色が持つ意味	住民等の行動の例	想定される周囲の状況例
極めて危険	この状況になる前に安全確保行動を完了する。	道路が一面水に浸かり、側溝やマンホールの場所が分からない。道路冠水等のために鉄道やバスなどの交通機関の運行に影響が出るおそれがある。周囲より低い場所にある多くの家が、いつ床上まで水に浸かってもおかしくない。
非常に危険	速やかに安全確保行動をとる。	多くの場所で側溝や下水が溢れ、道路がいつ冠水してもおかしくない。周囲より低い場所にある家が、床上まで水に浸かるおそれがある。
警戒	安全確保行動をとる準備をし、早めの行動を心がける。高齢者等は速やかに安全確保行動をとる。	周囲より低い場所で側溝や下水が溢れ、道路が冠水するおそれがある。住宅の地下室や道路のアンダーパスに水が流れ込むおそれがある。周囲より低い場所にある家が、床上まで水に浸かるおそれがある。
注意	道路のアンダーパスに近づかない。住宅の地下室にいる方は速やかに退避する。	周囲より低い場所で側溝や下水が溢れ、道路が冠水するおそれがある。住宅の地下室や道路のアンダーパスに水が流れ込むおそれがある。周囲より低い場所にある家が、床上まで水に浸かるおそれがある。
今後の情報等に留意	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意。	普段と同じ状況。

宮古島地方気象台

検索



宮古島地方気象台ホームページ

<http://www.jma-net.go.jp/miyako/>

お問い合わせ先: 宮古島地方気象台 TEL: 0980-72-3054 (平日のみ / 8:30~17:15)